



講演会

ゲノム編集とはどんな技術なのか？ -治療や品種改良での大きな可能性-



講師

広島大学大学院理学研究科

やま もと たかし

山本卓先生

【講師プロフィール】

昭和40年10月生
平成元年 3月 広島大学理学部生物学科動物学専攻卒業
平成 4年 7月 広島大学大学院理学研究科博士課程後期中退
平成 4年 8月 熊本大学理学部助手
平成14年 6月 広島大学大学院理学研究科講師
平成15年11月 広島大学大学院理学研究科助教授
平成16年 4月 広島大学大学院理学研究科教授
平成26年 4月 鳥取大学染色体工学センター客員教授
熊本大学生命資源研究支援センター客員教授

一般社団法人日本ゲノム編集学会会長
ゲノム編集コンソーシアム代表
広島大学自立研究拠点「ゲノム編集研究拠点」拠点リーダー

ゲノム編集は、微生物から動物や植物まで広く利用できる新しいバイオテクノロジーです。基礎分野の研究だけでなく病気の治療や品種改良に利用可能なため、ここ数年で飛躍的に技術開発が進んでいます。本講演では、ゲノム編集がどんな技術なのか、どんなことが可能になるのかを紹介します。

日時

平成28年

11月12日 土

15:00～16:30 (開場14:15～)

49

場所

広島大学霞キャンパス

(広島市南区霞1-2-3)

広仁会館大会議室

聴講
無料

申込
不要

一般市民の方も
大歓迎！

11 12 () 10:00 18:00

11 13 () 10:00 17:30